



INDEX

- ・ 24年度補正予算等を可決②③
- ・ 委員会審査④
- ・ 一般質問⑤～⑪
- ・ 委員会活動報告⑪

危険なため池の改修など 6,930万円を増額補正

6月定例会は、6月15日に開会し7月4日までの20日間の会期で開催しました。
今定例会では、一般会計・特別会計の補正予算案をはじめ、条例制定、改正など執行部提出議案14件、報告3件を受け、全て可決・承認しました。

緊急防災対策事業

ため池5か所（向津貝地区他）
4千540万円



我がまちスポーツ推進事業

1千万円に増額

この事業は、県の我がまちスポーツ推進事業の要綱制定を受け、当初予算計上分以外の事業についても事業採択されたことから、524万円追加されました。イベント・教室開催、合宿等誘致促進、視察、普及活動等の経費が組み込まれています。

4月の強風による施設改修

中央公民館屋上 419万円
防球ネット復旧 293万円

4月21日の強風により、中央公民館の屋上の防水シートが剥離したための復旧工事と、三隅勤労者トレーニングセンターテニスコートの防球ネット復旧の経費です。

自治宝くじ助成事業

クラブネット大畑へ250万円

地域コミュニティ活動を推進するため、財団法人自治総合セ

油谷中央公民館は4月から使用禁止

代替施設はラポールゆや

【議案第7号 長門市使用料徴収条例の一部を改正する条例】
【議案第8号 長門市公民館条例の一部を改正する条例】

油谷中央公民館は、建物の老朽化に伴い、本年4月からの使用を禁止し、公民館の機能はラポールゆやに移されています。コミュニティホール、視聴覚室

及び研修室の使用料については、文化会館としての時間帯制から、公民館と同様の時間単価制に変更します。現公民館は立ち入り禁止とし、市民の安全を確保します。
施設の取壊し・撤去は財政的な問題から、協議の上で決定します。



センターの活動用備品整備事業の採択を受けたクラブネット大畑へ助成されます。

その他の補正

・没後80年金子みすゞ展事業追加開催	140万円
・生活保護生計調査事業	28万円
・長門市農地集積協力金事業	236万円
・漁港施設周辺環境整備事業	216万円
・コミュニティ・スクール推進事業	10万円
・通小学校給水ポンプ取替工事	225万円
・菱海中学校渡り廊下改修工事	209万円
・全国高校カッターレース大会開催補助金	25万円



(市民の役割)

第4条 市民は、自らがまちづくりの主体であることを自覚し、積極的にまちづくりに参加するよう努めます。

2 市民は、地域社会に関心を持ち、及び自らができることを考え、行動するよう努めます。

(市の責務)

第15条 市は、市民協働によるまちづくりが進むよう実施する第10条から前条までの取組のほか、次に掲げる施策を実施します。

(1) 市民協働によるまちづくりを推進するための仕組みを構築します。

(2) 市民協働によるまちづくりを推進するため、総合的かつ計画的な施策を実施します。

(3) 地域コミュニティ活動及び市民活動を促進するため、地域コミュニティ及び市民活動団体に対するまちづくりに係る情報の提供、活動拠点の整備等を支援します。

【条例抜粋】

議案第4号 長門市みんなで進める市民協働によるまちづくり条例

自分たちのまちは 自分たちで

条例の目的は

近年、少子・高齢化、環境問題、東日本大震災を契機とした防災対策など、地域社会の課題はますます複雑・多岐にわたり、表面化してきており、これらの諸課題に対し、これまでの公平・画一的な行政サービスだけでは対応できない事例が増えてきたことから、住むことに喜びを感じ、誇れる、豊かな地域社会の実現を図ることを目的に、市民協働によるまちづくりを推進するための基本となる条例を定めるものです。

市民協働って

市民協働とは、「市民、地域コミュニティ、市民活動団体、事業者及び市が、お互いにそれ

連合審査会を開催

6月21日の本会議で、本議案の審査は総務委員会に付託されましたが、議案の内容が多岐に渡ることから、総務委員会に先立ち、文教厚生委員会と経済建設委員会を加えた3委員会で連合審査会を行いました。連合審査会では、委員から、啓発の方法や体制づくりなどについての質疑があり、執行部の説明がありました。



ぞれの特性を認め、及び尊重し、共通の目的に向かつて、その責任及び役割分担に基づいて、共に取り組むこと」であるが、この条例は、この市民協働に関しその基本的なルールを定めようとするものです。

具体策は

「実施プラン」で

今後、具体策である「実施プラン」に市民の意見を取り入れるためワークショップ等を開催し、今年度中を目途に策定します。また、市民の方に具体的な市民協働を理解いただく方法として、市内市民活動団体によるシンポジウムを開催するなどして、市民への周知を図っていきます。

委員会審査

各常任委員会では、本会議から付託された議案に対して、専門的に調査、議論を行い委員会としての賛否を決定します。以下が審査内容です。

文教厚生常任委員会

付託議案（5件）

- 議案第1号 平成24年度長門市一般会計補正予算（第1号）のうち本委員会の所管分
- 議案第2号 平成24年度長門市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第5号 長門市印鑑条例及び長門市重度障害者福祉手当条例の一部を改正する条例
- 議案第7号 長門市使用料徴収条例の一部を改正する条例
- 議案第8号 長門市公民館条例の一部を改正する条例

【主な審査内容】

議案第1号の審査では、民生費の生活保護費の生活保護生計調査事業に関し、委員から、報償費などは保護世帯の収入にならないのかとの質疑があり、執行部から調査の謝礼については収入認定しない取り扱いとなっているとの答弁がありました。その他、教育費の我がまちスポーツ推進事業や、長門市使用料徴収条例の一部を改正する条例の審査において委員より質疑があり、執行部の説明がありました。

審査の結果、文教厚生常任委員会に付託された議案は、賛成

全員で、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

経済建設常任委員会

付託議案（2件）

- 議案第1号 平成24年度長門市一般会計補正予算（第1号）のうち本委員会の所管分
- 議案第3号 平成24年度長門市水道事業会計補正予算（第1号）

【主な審査内容】

議案第1号の審査では、農業費に関し、委員から、長門市農地集積協力金事業の事業内容について質疑があり執行部から、

地域の人・農地・フランを策定し、地域の中心となる法人や認定農業者などの経営体に農地を集積した場合、農地の出し手に対する支援として、面積に応じた経営転換協力金または経営体の分散した農地の連担化に協力する場合には、分散錯圃解消協力金が交付されるものとの答弁がありました。

その他、単県農山漁村整備事業について委員から質疑があり、執行部の説明がありました。審査の結果、経済建設常任委員会に付託された議案は、賛成全員で、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

総務常任委員会

付託議案（5件）

- 議案第1号 平成24年度長門市一般会計補正予算（第1号）のうち本委員会の所管分
- 議案第4号 長門市みんなで進める市民協働によるまちづくり条例
- 議案第6号 長門市税条例の一部を改正する条例
- 議案第9号 長門市火災予防条例の一部を改正する条例
- 議案第14号 工事請負契約の締結について

【主な審査内容】

議案第1号の審査では、みずく関連イベント等開催事業について、みずく展が追加して開催されているが、今後の事業展開をどのようにされるのかとの質疑があり、これまで没後80年金子みずく展ということで開催しているが、来年は、金子みずく生誕110年になるので、この取り組みを進めていくことにしているとの答弁がありました。

その他に、総務費の自治宝くじ助成事業、長門市みんなで進める市民協働によるまちづくり条例、長門市税条例の一部を改正する条例、工事請負契約の締結について委員から質疑があり、執行部の説明がありました。審査の結果、総務常任委員会に付託された議案は、賛成全員で、原案のとおり可決すべきものと決定しました。



ラグビー教室（我がまちスポーツ推進事業）



金子みずく記念館

一般質問



先野正宏 議員

バスの運行状況を見直せ

問 本年度も、多額の路線バスの補助金が予算措置されたが、バスの運行状況を見直し、運営費補助金の縮減を図ることは出来ないのか。

答 今後、具体的な公共交通のあり方を示す「長門市地域公共交通計画」を24年度中に策定する予定である。

公共交通の利用実態やニーズの調査を行い、地域の公共交通の確保・維持・改善のための方策を検討し、財政負担も踏まえ効率的なバスの運行について検討したい。

問 バスの運行計画を策定するのにコンサルタントに頼むのではなく、職員で作れば経費の削減になるのではないか。

答 バス会社の担当職員と市の職員とで協議をして対応する。

問 高齢者や買い物難民対策として、バスを減便する代わりに、仙崎のコスモスや丸和、191号線沿いの

眼科など要望の多い箇所へのバス停の新設は考えられないか。

答 すぐには難しいが、買い物難民や安心安全のまちづくりの観点から考えていく。

俵山中学校の統廃合は

問 俵山中学校の統廃合は今後どうするの。

答 地域住民の意見を聞き、子どもや保護者の方の意見を尊重し、子どもたちに最善の教育環境が提供できるよう努めたい。



市内を走る路線バス

発達障害者支援の構築は

問 3月に策定された「長門市障害者福祉プラン」の中で、本市では初めて発達障害者支援が明記された。支援の必要な方が年代を問わず増加傾向にある中で、今後の支援策構築を問う。

答 発達障害は、分類も多岐にわたる。本人の努力不足にあるいは育て方や家族の問題などと誤解されがちである。今後は、市民への啓発活動に努めるとともに、家族支援、ライフステージに沿った支援を具体的に取り組む。

問 仙崎小学校にある「ことばの教室」をもう1校増やし、市内2校体制はできないか。

答 2校体制の必要性は認識している。油谷小改築に合わせ検討するが、その前に指導者の配置や保護者の要望等の課題を解決していく必要がある。

問 発達支援策としての「ペアレント・メンター」制度に取り組んでいただきたい。



田村哲郎 議員

答 ペアレント・メンターは厚労省や山口県においても有効な家族支援事業としており、市としても国・県と共に取り組んでいきたい。

ペアレント・メンターとは、自閉症など発達障害のある子どもを育てる親の相談役となる人。

通学路の安全対策は

問 通学路の安全対策のうち、特に市道中山池田線の対策についてどう考えているのか。

答 中山池田線の改良計画では、歩道幅を2.5m確保し、全幅員10mを予定している。また境界ブロックで車・歩道を分離するほか、この区間の速度規制等も検討したい。



仙崎小学校 ことばの教室



南野信郎 議員

空き家対策で定住促進を

質問

市外及び県外から長門に定住しようとする方にとっては、住居の確保が大変重要となるが、市の空き家対策としてどのように取り組んでいるのか。

答

市においては、定住促進施策の一環として、空き家情報バンク制度を実施している。

この制度は、市内にある使用されていない住宅等を所有者の了解を得て登録し、田舎暮らしを希望される方に情報提供するもので、ホームページ上で紹介することにも、定住相談窓口である企画政策課においても来庁者への紹介をしている。

倒壊家屋の対策を急げ

質問

倒壊家屋は、これから夏に向けて安全面、衛生面等、非常に不安なものもあり、近隣に住む子ども達にも危険が及ぶものがあるが、市としてどのような対策を考えているのか。



長門おためし暮らし体験ツアー（空き家見学）

答

危険家屋が倒壊等により通行に支障を及ぼす場合は、緊急対応としての危険部分の撤去や通行制限などの処理を行っている。また、条例制定について、現在内部で協議検討を重ねている。

仙崎地区のまちづくりは

質問

仙崎新市場が7月に完成するが、仙崎地区のまちづくりとして、金子みすゞ記念館及びその他の施設とどのように一体性を持たせるのか。

答

今後、仙崎新市場の開設による効果を大いに活かし、住民や事業者にも積極的に協力をいただく中で、散策して楽しい仙崎のまちづくりを工夫していきたい。



岡崎 巧 議員

風力発電事業の

具体策が見えない

質問

風力発電については、昨年の12月定例会において、市の方針が示されている。しかし、その後6カ月が経過をしつつあるが、具体的な対策が見えないが、どうなっているのか。

答

昨年、市が行った県内外8カ所の調査の結果も踏まえ、住宅から隔離する距離として400mを確保すること。地形等諸条件により、距離の確保ができない場合には、騒音基準値にかわらず、住宅の防音対策を行うなど、騒音に対する具体的対応策を求めている。今後、事業者からの回答を受け次第、住民に説明し、意見を聞きたいということに関係自治会長に伝えている。

風車問題の解決を急げ

質問

風力発電については、いつまでも問題の解決を図りたいと考えているのか。



風力発電施設（油谷地区）

答

年内には事業が進むのか進まないのか、しっかりとその判断をしていきたい。

畜産のブランド戦略の

具体策は何か

質問

長門市のブランドには、「長州黒かしわ」と、「長州なごと和牛」があるが、畜産のブランド戦略について、具体的な方策はどうなっているのか。

答

市の特有の畜産ブランドを観光客や市内外に情報発信を行い、ブランド化を図る取り組みを実施している。今後、長州黒かしわ振興協議会や長州なごと和牛ブランド化推進協議会をはじめ、県及び関係団体と十分連携を図りながら、ブランド化の推進については、積極的に支援していきたい。



新谷 勇 議員

自主防災組織の現状と課題は

問 大西市長は施政方針の中で「チームながと」を掲げ、6つの重点施策の一つとして「災害に強いまちづくり」があり、安全・安心なまちを目指すとしている。自主防災組織の現状と課題等について、どのように認識されているのか。

答 自主防災組織の組織率は、各自治会、行政区単位で住民の緊急時の連絡網、情報伝達網として活用できる名簿を整備していることから、県の認定基準においては100%となっている。しかし、市の地域防災力強化のためには、実効性のある自主防災組織の育成と機能強化を図っていくことが課題となっている。災害に強いまちづくりの実現に向けて、取り組みを強化していきたい。

答 消防団員の確保が困難な状況にある地域が出てきており、地域の防災力の向上を図るためにも、現状の消防団員数を確保するよう、努力している。

防災教育の取り組みは

問 自分の命は自分で守る防災教育については、学校でどのような形で行われているのか。

答 教科の授業では、自然災害についての正しい知識を身につけるようにしており、特別活動の中では、地震、洪水、台風などの写真やイラストから、状況や情報を的確に判断する力を高める取り組みをしている。

問 地域で安全・安心を確保する大きな力となるのが消防団だが、人員確保についてどう考えているのか。

消防団員の人員確保を図れ



防災訓練に参加する消防団員



重廣正美 議員

湯本温泉の景観整備の計画は

問 長門市の『観光の顔』づくりとして、宿泊地の拠点と位置づける湯本温泉の活性化をあげているが、これからの計画は。

答 観光客を引きぎつける温泉街としての将来のあり方を考えるため、地域住民が主体となって策定される「湯本温泉活性化ビジョン」に期待するとともに、地域活性化につながる様々なイベントについて支援していく。

答 観光客を引きぎつける温泉街としての将来のあり方を考えるため、地域住民が主体となって策定される「湯本温泉活性化ビジョン」に期待するとともに、地域活性化につながる様々なイベントについて支援していく。

今後は、10月に策定される将来ビジョンの内容を検討し、できることから具現化に向けて進めていきたい。

恩湯の施設改修を望む

問 市営の「恩湯」は老朽化している。利用している市民のため、また、観光客を増やすためにも市が管理している施設であるので、これからの建て替え、改修が望まれる。今後の計画について尋ねる。

答 恩湯の老朽化は理解しているが、源泉への影響があり建て替えるは困難であると考ええる。改修は将来ビジョン策定後に検討する。

自然エネルギー活用の意識

問 自然エネルギー活用をどう認識しているか。また、個人住宅の太陽光発電パネル取付への市独自の支援策を検討する計画はないか。

答 社会全体で取り組むべき重要な課題であり、自然エネルギー資源の有効活用を積極的に推進していく必要がある。太陽光発電パネルへの補助金は、個人の利益につながる可能性がある。他事業に組み込むことは検討したい。



湯本温泉の市営公衆浴場（恩湯）



長尾 実 議員

ホテル・旅館の

課税免除の実績は

質問

市では、長門市過疎地域自立促進特別措置法による固定資産税の課税免除に関する条例で、法人の同一会計年度で2,700万円を超える建物の新増築及び設備の新増設を行った場合、その対象物件については3年間免除となる税の優遇制度を行っている。この課税免除を行っている、ホテル・旅館に対する適用実績はどうか。

回答

過去、ホテル・旅館などで課税免除の対象になった物件が1件あり、3年間ほど課税免除を行っている。

税制改正への対応は

質問

政府は、昨年12月に2012年度税制改正大綱を閣議決定し、旅館・ホテル業界の長年の悲願であった「固定資産評価の見直し」が盛り込まれた。実施は2015年度の評価替えからだが、このことについて市はどうとらえているか。

回答

具体的な内容が不明なので、今後国の税制改正の動向を注視し、適正な対応を行っていきたい。

公衆トイレの水洗化を

質問

公共交通であるJRのトイレは、非水洗化など現在の生活環境からすると早急に改修を要する箇所があると思うが、市としてどのように考えているか。

回答

市内JR駅のトイレは、十分な施設であるとは思っていないのでJRに対して、改修等について要請していく。市としては、鉄道利用者の利便性の向上、観光面及び公衆トイレとしての必要性など、様々な面から水洗化等の改修について検討する。



旅館・ホテルが建ち並ぶ湯本温泉街

公民館の指定管理は

質問

総合計画では、公民館を平成28年度までに全館を指定管理することとなっているが、どう取り組むのか。

回答

公民館には、多種多様な機能・役割があり、地域活動の拠点施設として役割を果たすことが望まれる。しかし、長年、各地域における公民館の存在や、それぞれの地域事情、抱える課題も異なるため、地域の理解と体制の整った所から進めたい。

教育施設は公的な責任がある

質問

公民館は、教育施設であり公的な責任があると思うがどうか。

回答

生涯学習の理念に、「誰でも生涯のうちに自由に学べる機会を選択することができる」としているが、指定管理をしたからと言って理念に逸脱したとは考えてはいない。



大草博輝 議員

指定管理された

俵山公民館の評価は

質問

平成20年10月から、俵山地区発展促進協議会が指定管理者となり公民館を管理運営しているが、検証の結果をどう評価しているのか。

回答

公民館が地元住民で管理運営されたことで、職員や運営経費が削減された。また、より身近な存在となったことで地域の絆が強まり、俵山地域の総合力が高まったと思う。

反省点としては、学習活動とNPO法人の実践活動との区分けが難しく、公民館業務が広範囲にわたり、限られた職員体制では負担増となる状況もあったが、出張所・小中学校等、地域全体で支援すること、より結束が強まった面もあると思う。



指定管理されている俵山公民館



林 哲也 議員

自然エネルギーの活用

どう取り組むのか

問 萩市では、民間企業とメガソーラー（大規模太陽光発電）を建設するための進出協定を結んでいる。

長門市総合計画後期基本計画の中では、新エネルギーの活用がうたわれており、その施策の展開として市民の安全安心の確保を前提に民間事業者による風力発電の推進、本市の森林畜産等のバイオマス資源や太陽光などの新エネルギーの活用を検討するとなっている。自然エネルギーの活用に対し、どういう認識を持っているのか。

答 エネルギー問題は、社会全体で取り組む必要があるものだが、太陽光発電には太陽光、風力発電には風、水力発電には水が必要であり、地域の特性に合わせた検討が必要であると思っている。

遊休地で

メガソーラーの活用は

問 市が保有する遊休地については、その有効利用の観点から市民

問 事業者による活用の可能性を検討したいと述べているが、これはメガソーラーを意識した発言なのか。

答 メガソーラーのことも含めて検討をしている。

生活保護世帯の

就労自立支援を

問 行政が発注する仕事において、事業者の協力を得ながら生活保護世帯の自立に向けた支援と取り組みを具体的にやっていく必要があるのではないか。

答 自立に向けた取り組みとして、雇用の創設など新しい仕組みを検討していきたい。



メガソーラーの建設予定地（滝ノ下）



山根勇治 議員

省エネルギー対策の普及を

問 昨年の大震災による原子力発電の問題などから各地方自治体では、エネルギー問題に積極的に取り組まれているが、省エネルギー対策の普及はどのようになっているのか。

答 平成24年度から28年度までの長門市役所エコ・オフィス実践プラン第2期計画では、18時以降に庁舎内一斉消灯を行うスイッチオフデーの徹底や空調設備使用の削減を新たに追加し電気使用による温室効果ガス排出量7%以上を削減することとしている。

市全体での省エネルギー対策としては、地球温暖化キックオフイベントの開催、緑のカーテン事業やライトダウンキャンペーン等、家庭や事業所で簡単に取り組める省エネルギー対策の紹介など市民への啓発を進めている。

循環型社会への取り組みは

問 バイオマス資源の活用については研究していく必要があるのでは

ないか。

答 循環型社会を念頭に置きながら木質バイオマスエネルギーについてもしっかりと研究をしていきたい。

被保険者証のカード化で

利便性の向上を

問 国民健康保険被保険者証のカード化によって、利便性の向上を図っていく必要があるのではないか。

答 次期被保険者証の更新時期である平成25年4月1日から一人一枚の被保険者証のカード化を行う方向で検討していきたい。



市役所玄関上に設置された緑のカーテン



重村法弘 議員

通学路の緊急点検は

ゼロベースの見直しを

問 教育委員会、長門警察署等が合同で8月を目途に通学路の緊急点検を実施するが、本市における通学路の安全性の認識と対策はどう考えているのか。

答 通学路の安全確保は、教育行政において重要な課題と認識している。また教職員によるパトロールの実施や、保護者、子ども、地域からの情報提供などを基に毎年危険箇所把握に努めている。

危険箇所の早期対応を

問 特に危険と思われる通学路は、行政の責務として早期の対応が必要と考える。時速30キロ規制の導入や、スクールゾーン、横断歩道等白線の明確な表示、危険ゾーンのカラー舗装化など3点を提案するが、実施できないのか。

答 この合同緊急点検を生かし、速度規制などは、公安委員会にも

しつかり働きかけ取り組みたい。またカラー舗装については、予算の範囲内で取り組みを強化していきたい。

体育施設の維持管理

運営は利用者の目線で

問 公共の体育施設は、多くの市民、団体が利用してこそ目的が達成される。国体以後利用者、来場者が急増している俵山多目的交流広場（ラグビー場）について、利用者側に立った管理運営がされているのか。

答 現在、施設の芝管理は農林課、使用許可受付は教育委員会所管となっており、管理運営については一元化が必要と考えている。ラグビーワールドカップ合宿地誘致に向けても最善の運営を考えたい。



子どもたちへ安全な通学路を

生活保護の実態は

問 厳しい経済情勢が続く中、生活保護者の実態はどうなっているか。

答 生活困窮者等に関する相談が年間100件程度あり、半数近くが生活保護の申請をされている。本年3月末の生活保護受給状況は、267世帯、329人である。世帯類型別では、高齢者世帯が46・4％。傷病障害世帯が40・4％。母子世帯が1・9％。その他が11・3％である。

生活再建の取り組みは

問 生活保護を受けている方の自立を促すことが大切なことであるが、生活再建に向けた取り組みはどうか。

答 保護受給世帯には、傷病世帯が治療へ専念するなど受給者ごとの生活支援目標を定め、ケースワーカーが定期的に訪問、指導し、受給者と共に生活再建に取り組んでいる。また、就労可



三村建治 議員

能な方には、本年度、配置をした生活保護就労支援員がハローワークへの同行訪問、定期的な情報提供、あるいは関係機関との連絡調整を行いながら保護受給者の自立に向け行っている。

市道の維持管理は

問 市道の区画線、とくにセンターライン、一旦停止線など消えている路線があるが、市道の管理はどうなっているのか。

答 主要な幹線道路は、月1回以上、その他の市道については、2か月に1回以上の頻度でパトロールを行っている。市道の区画線については、危険度や緊急性などに応じ補修している。



生活保護相談窓口



阿波昌子 議員

市と社会福祉協議会等の連携は

の連携は

問 市社会福祉協議会（市社協）は、地域福祉の重要な役割を担って様々な事業に取り組んでおられるが、市は市社協の位置づけをどのように考えているのか。

答 市社協は、本市の福祉行政に欠くことのできない団体であると認識しており、まさしく「車の両輪」という位置づけの下で、市社協の自立運営のための財政的支援を含め、より密接に連携しながら、市民福祉の向上に取り組んでいきたい。

問 地区社会福祉協議会（地区社協）を市の福祉政策の中でどのように位置づけているか。

答 地域住民の総意をもって組織された地区社協は、これまで市社協からの財政的支援を得ながら、地域の生活課題の解決に積極的に取り組んでいたところであり、本年度から向こう5年間の地域福祉計画推進の主たる取組団体として位置づけている。

問 地区社協が自立運営していくために市はどのように関わっていくのか。

答 本年4月に設立された日置地区社協を含めた市内7つの地区社協は、その区域の広さや住民・世帯数、生活課題、さらに地区社協組織の充実度も異にしている。

そこで、本年度、お互い様ネットワーク地域協働交付金事業として、地域毎の生活課題に対し、それぞれの地域住民の自主的な、いわゆる提案型の取り組みに対し、1地区70万円を上限に、その範囲内で交付金を交付する事業にも市社協の協力を得ながら取り組むこととしている。こうした取り組みを通じて、地区社協の自立促進に繋げ、ひいては地域福祉の充実に繋げていきたい。



日置地区社会福祉協議会設立総会の様子

常任委員会活動報告

4月から6月にかけての各常任委員会の活動を報告します。



意見交換会（総務委員会）

意見交換会

総務常任委員会

総務委員会は、5月11日長門ケーブルテレビ（株）と意見交換を行いました。

ケーブルテレビの在り方、番組の改善・議会中継の方法等、もともと市民に身近な楽しい報道になるよう、共に努力することを大いに話し合いました。

経済建設常任委員会

4月23日、経済建設委は湯本温泉旅館組合の皆さんと意見交換をしました。

景気低迷・観光不振の中、懸命に努力されている皆さんの真剣な意見

や要望を聞き、改めて観光事業の重要性を認識しました。

文教厚生常任委員会

文教厚生委は、4月17日、依山湯の家・NPO法人ゆうゆうグリーン依山と意見交換をしました。

湯の家の現状や課題・要望や、ゆうゆうグリーン依山の地域に溶け込んだ活動等をしつかり学びました。

行政視察

文教厚生常任委員会

来年4月開業を目標に長門市休日夜間診療センターの建設が進んでいます。

文教厚生委では、この施設を地域医療向上に資するため、5月23日、下松市休日診療所を視察し、さまざまな点を研修しました。



下松市休日診療所を視察（文教厚生委員会）

みすゞ七夕笹まつりに出店

かき氷屋さんに挑戦！

●とき 8月4日(土) 18時00分～20時30分
●ところ 仙崎みすゞ通り

この時季、各地区ではさまざまなイベントが開催されます。長門市議会の議員互助会は、8月4日(土)に開催されるみすゞ七夕笹まつりに『かき氷』を出店します。

なお、売り上げの全額を東日本大震災への義援金にさせていただきます。

みなさまのご来店お待ちしております。

仙崎みすゞ通り周辺が、懐かしい竹笹飾りとほおずき提灯で彩られます。



表紙の説明

通っ子、ここにあり！



今回の表紙を飾ってくれたのは、通小学校の子どもたちです。

7月8日に恒例行事「通小学校海の子遠泳大会」の様子です。

海と共に暮らす地域ならではの伝統的学習、遠泳を通じて忍耐力、仲間との連帯感、そして何よりも地域ならではの自然と住民との交流に目的があります。

予定の児童全員が参加し、高学年の子どもの中には、見事1,600メートルを泳ぎ切る児童も・・・見守る保護者、教職員、地域のみなさんの目にはさぞたくましく映ったことと思います。

まさしく「通っ子、ここあり！」をみせてくれた取材でした。

児童、地域の皆さん本当にお疲れ様でした。そして、たくさんの元気と勇気をありがとうございました。

～長門市海岸清掃の日～

6月定例会では、「みんなで進める市民協働によるまちづくり条例」を議会としても承認しました。人口減少、高齢化、地域経済の低迷など今後のまちづくりには多くの課題が山積しています。

こうした中、今年も7月8日(日)を「長門市海岸清掃の日」と定め、市内全域で市民の参加により、海水浴場を中心に10ヶ所1,416人の参加により清掃活動がおこなわれました。約2時間にわたるボランティア作業本当にお疲れ様でした。

この日、回収したごみは8.5トン。改めて協働の取り組みの必要性を考えさせられる一日でした。

住みやすく、誇れるまちを構築していく一番の原動力は、主人公である私たち一人一人の市民ではないでしょうか。



編集後記

もうすぐ4年に一度の夏がやってきます。

アスリートの祭典オリンピック・ロンドン大会2012は、7月27日～8月12日までの17日間開催される予定です。

今年の大会は、世界204の国と地域から様々な民族が一同に会し競技し、交流を深め世界平和の礎を築きます。選手、大会関係者、スタジアムの観衆、そして世界津々浦々のテレビの前の私たちが一体となる17日間です。期間中どんなドラマが繰り広げられ、ヒーローが誕生するのか？

ロンドンとの時差は9時間、深夜の中継から目が離せない、寝不足覚悟の熱い夏を待ちわびています。(重村)

傍聴にお越しく下さい

市議会の本会議は、誰でも傍聴することができます。市政への理解を深めるためにも市議会の傍聴にぜひお越しください。

ながと市議会だより
発行／山口県長門市議会
編集／議会だより特別委員会

委員長	大草博輝
副委員長	重村法弘
委員	田村哲也
	林野正宏
	先重廣正